

特集

共育

地域に開かれた学校

コ

ミュニティ・スクール。

地域に開かれた21世紀の学校の形として、平成16年から国が導入した、地域と学校の新しいあり方です。

これまで学校は、地域の中にあるながら、どこか地域と距離のあるものとして存在してきました。

また、地域の方々も、保護者として学校に関わる程度で、多くの方にとって、普段の生活には関わりのない場所でした。

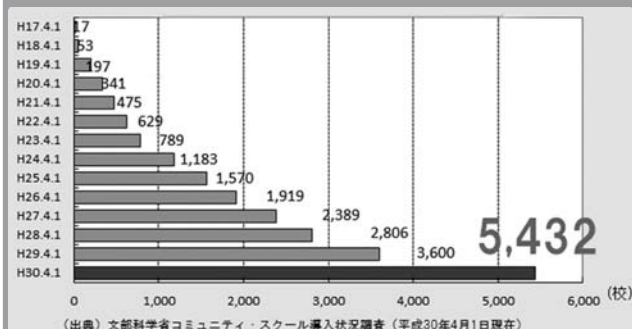
Community School

より良い教育環境の実現に向けて

現在、子どもたちを取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化、いじめ問題やネット犯罪の危険性といった様々な課題があり、これに伴う教職員の負担も増加しています。

また、社会的な動向では、人口の減少、地域社会のつながり、支え合いの希薄化、貧困問題、児童虐待の増加などの問題があります。子どもや学校が抱える課題の解決や、未来を担う子どもたちの豊かな成長のために、社会全体で教育に取り組むことが重要です。

全国のコミュニティ・スクールの数

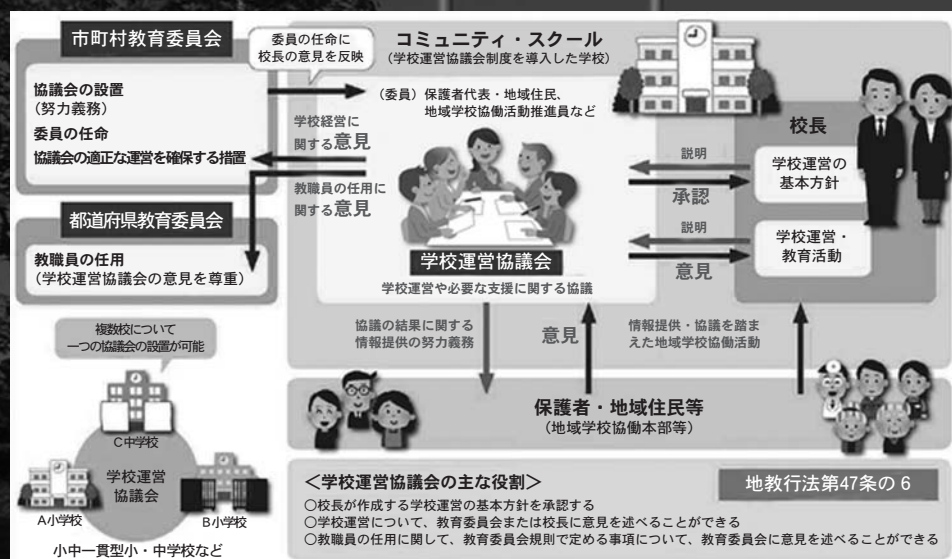


そんな現状を変え、新たな関係を築くための取り組みが、コミュニティ・スクールです。

保護者・地域住民・学校で構成される「学校運営協議会」を組織し、ともに知恵を出し合い、協働し、

「地域とともにある学校」を育んでいきます。

コミュニティ・スクールのイメージ (文部科学省HPより)



【学校運営協議会の3つの役割】

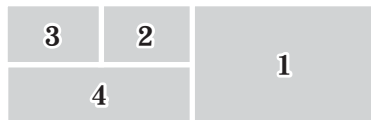
- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べる



学校運営協議会は、保護者や地域住民、教育関係者等の委員15名で構成されます。

こうした状況から、本町では、平成28年に「コミュニティ・スクール推進委員会」を発足させるなど、導入に向けた取り組みを開始し、本年度より小・中学校ともにコミュニティ・スクールをスタートさせました。

コミュニティ・スクールには、地域を中心とした学校運営協議会が設置され、議論を通じて多くの方の意見を学校運営に反映させながら、課題解決を目指します。これまで3回の全体会と、小学校部会・中学校部会に分かれての運営協議会がそれぞれ開かれ、活発な議論が交わされました。



- 1_小学校世代間交流会(さわやかカレッジ)
- 2_放課後子ども教室(地域ボランティア)
- 3_小学校防犯教室(南幌駐在所)
- 4_中学校イングリッシュトライアル(地域ボランティア)

取り組みの先に見える 一歩進んだ まちの姿

「地域社会」や「人と人のつながり」などを意味するコミュニティ。コミュニティ・スクールは地域と学校をつなぎ、学校という舞台で地域の人と人もつなげる、そんな可能性を秘めた新しい試みです。

地域の特色を生かした
学校づくりを

コミュニティ・スクールは、地域の皆さんの声を学校経営に反映させながら、地域と学校が同じ方向を向き、力を合わせて地域の子どもを育むための教育システムです。コミュニティ・スクールを通じて地域の多様な方たちが学校運営に参加することにより、子どもたちは、さまざまな経験を重ねていきます。そこで改めてふるさとの良さを発見したり、地域の方々が活躍できる場が生まれ、地域の活性化にもつながります。本町ではこれまでも、地域の文化や産業人材などを学校づくりに生かそうと、地域の理解、協力のもと教育活動の充実を図ってきました。ページ上部では、活動の一部を紹介しています。

学校運営に地域の声を反映

これまでに行われた運営協議会では、本町のコミュニティ・スクールの目標やビジョンの体系、スローガン、協議会の役割、部会の設置などが、各部会では、小・中学校におけるそれぞれの

学校経営方針や学校が抱える課題、地域との連携についての説明・協議が行われました。

小学校部会では、「南幌小学校グラウンドデザイン」が示され、「すべては子どものために」を合言葉に自分のよさを伸ばし、互いに協力し、学び合いのある学校を目指すために、どのようなことに取り組んでいるか、小学校の状況や課題についての説明があり、保護者と協働を深める学校づくりや交通安全指導の充実、地域と連携した学習活動について意見が交わされました。

中学校部会でも、学校経営の全体構想が示され、「実生活に生きる能力」を育てる学校、「やりがい」のもてる職場、地域に貢献する学校を学校経営理念として、「自立」「信頼」「錬磨」を目指す生徒の姿に対して、どのように取り組んでいるのか、職員の基本姿勢、中学校の現状などが説明されました。特に、地域スポーツ少年団と連携した部活動のあり方や望ましい生活習慣の確立を目指した部活動週5日制の取り組みについて意見が交わされました。



8	5		5_小学校陶芸授業(町内サークル)
	7	6	6_小学校学習田(町内農家) 7_中学校職場体験学習(町内事業所) 8_小学校朝読み(町内サークル)

Community



学校で出会う、地域をつなぐ
コミュニティ・スクールは、
学校だけの取り組みではありません。
学校と地域がともに成長
し、豊かになれるシステムです。
地域の皆さんが学校の教育を
支え、地域と学校をつなぐコミ
ュニティ・スクールは、まさに
人と人とを結ぶ懸け橋です。今
後、築かれていく地域と学校の
関係が、「地域とともにある学
校」、そして「学校とともにある
地域」を育み、新たなきずなを
生むことでしょう。

この取り組みのその先に、地
域と学校がともに豊かになる、
そんな一歩進んだまちの姿が見
えてきます。

コミュニティ・スクールで考
えられている取り組みについて
は、南幌町では早くから行っ
ていて、他の市町村と比べて一歩
進んでいると言われています
が、既に実施されている取組
みについての再検証と新たな取
り組みへの協力体制について、
教職員への新たな負担をかけ
ないようなあり方を検討してい
きます。

当協議会は昨年4月、コミュ
ニティ・スクール方策への取
組みを協議する機関として、保
護者及び地域住民等15名の委員
により発足しました。

現在、「小学校部会」及び「中
学校部会」の2部会に分かれ、
学校を核とした協働の取組み
を通じて、地域の将来を担う人
材を育成し、自立した地域社会
の基盤構築・活性化を図るべく
協議を進めています。



南幌町学校運営協議会会長
篠原 茂樹 さん